

館長 (特命准教授)	伏見 裕利	Curator Associate Professor	Hirotooshi Fushimi (Ph.D.)
技術補佐員	林 珠央	Research Assistant	Tamao Hayashi

◇目的

世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。

◇活動概要

I) 民族薬物データベース (ETHMEDmmm) の構築

当資料館には、和漢薬、アーユルヴェーダ生薬、ユナニー生薬、タイ生薬、インドネシア生薬、チベット生薬など約 27,000 点の生薬標本が保存されている。これらに関するデータベースを順次開発し、生薬標本情報並びに学術情報を整理し、構築している。本年は、新たに 5 種類の生薬について記載を行った。

II) 薬草古典データベースの構築

中国薬草古典「証類本草」データベース：『証類本草』収載品で、日本でも民間薬として利用される生薬を中心に 10 項目の翻訳を進め、生薬 3 項目を校正し、データベースに登録した。

III) 「民族薬物資料館」ニュースレターの刊行

民族薬物資料館内部の展示物などを紹介したニュースレター（第 3～6 号）を刊行した。

IV) 「民族薬物資料館」目録〔II〕の作成

民族薬物資料館に保存されている生薬 27,000 点の中で、「傷寒論」及び「神農本草経集注」に記載のある生薬 32 種類 151 点について、目録〔II〕を作成した。民族薬物データベースの記載内容、生薬写真、及び証類本草データベースの記載等を抜粋し、注釈を加えた目録とした。

V) 「ひらめき☆ときめきサイエンス事業」の実施

日本学術振興会主催による研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI～」の一環として、平成 25 年 8 月 9 日（金）、10 日（土）に民族薬物資料館で中学生・高校生を対象とした和漢薬体験プログラム「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ！ー五感を使って和漢薬体験ー」を実施した。参加者は 2 日間で 25 名。

VI) 一般公開

第 20 回民族薬物資料館一般公開：平成 25 年 6 月 2 日（午前 10 時～午後 4 時）

1 日 3 回各 1 時間、日本の民間薬であるどくだみ、せんぶり、熊胆や麝香を中心として館内を案内した。来館者は 65 名。

第 21 回民族薬物資料館一般公開：平成 25 年 8 月 2 日（午後 1 時～4 時）

1 日 3 回各 1 時間、主に小学生を対象としたクイズラリー形式の参加型説明会「夏休み薬草体験ー薬草博士になろう！ー」を行った。また午前中は富山大学男女参画推進室による学童保育参加者を招いて同様の説明会を行った。来館者合計は 55 名。

第 22 回民族薬物資料館一般公開：平成 25 年 10 月 27 日（午前 10 時～午後 4 時）

1日3回各1時間、資料館内を案内すると共に、チベット医学における四部医典タンカを紹介した。さらに東洋医学講座として、薬剤師であり日本人唯一のチベット医でもある早稲田大学大学院の小川康氏による「チベット医学絵解き」を開催した。来館者は62名。

◇著書

- 1) 伏見裕利：ムクロジ目～アオイ目，「薬用植物学」（改訂第7版），水野瑞夫監修，木村孟淳，田中俊弘，酒井英二，山路誠一編集，183-196，南江堂．東京，2013．

◇原著論文

- 1) Naoko Anjiki, Hirotooshi Fushimi, Junko Hosoe, Naoko Fushimi, Katsuko Komatsu, Shao-Qing Cai, Hidekazu Ikezaki, Masayuki Mikage, Nobuo Kawahara and Yukihiro Goda: Use of a taste-sensing system to discriminate Kasseki (Aluminum Silicate Hydrate with Silicon Dioxide) in The Japanese Pharmacopoeia from Huashi (Talc) in Pharmacopoeia of The People's Republic of China. *J. Trad. Med.* 30: 34-40, 2013.
- 2) Ryo Kitamura, Tsugunobu Andoh, Hirotooshi Fushimi, Katsuko komatsu, Nasotoshi Shibahara, Yasushi Kuraishi: Involvement of descending monoaminergic systems in antialldynic effect of goshajinkigan in oxaliplatin-treated mice. *J. Trad. Med.* 30: 183-189, 2013.

◇学会報告

- 1) 伏見裕利：民族薬物データベース作成委員会，証類本草データベース作成委員会：民族薬物資料館ポスター．国立大学博物館等協議会 2013年大会（第8回博物科学会），2013，5，30-31，宮崎．
- 2) 伏見裕利，梅寄雅人，小松かつ子：日本民間薬の現地調査と民族薬物データベースの充実．国立大学博物館等協議会 2013年大会（第8回博物科学会），2013，5，30-31，宮崎．
- 3) 梅寄雅人，伏見裕利，春木孝之：富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館における情報技術の応用，国立大学博物館等協議会 2013年大会（第8回博物科学会），2013，5，30-31，宮崎．
- 4) 伏見裕利：フィールドワークで得られた民族薬物と生薬の持続可能な利用をめざして．第30回和漢医薬学会学術大会，2013，8，31-9，1，金沢．
- 5) 伏見直子，伏見裕利，小松かつ子：富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館所蔵の『第五改正日本薬局方生薬標本』について．第30回和漢医薬学会学術大会，2013，8，31-9，1，金沢．
- 6) 三宅克典，伏見裕利，倪斯然，大井逸輝，佐々木陽平，御影雅幸：国内で繁用される鉱物性生薬に関する資源調査（1）．第30回和漢医薬学会学術大会，2013，8，31-9，1，金沢．
- 7) 伏見直子，伏見裕利，安食菜穂子，御影雅幸，川原信夫，合田幸広：生薬「滑石」の基原について（3）：日本薬局方および中国薬典収載品の分光測色計による鑑別．日本生薬学会60回年会，2013，9，7-8，北海道．
- 8) 小松かつ子，冷正鵬，白焱晶，朱姝，葛躍偉，伏見裕利，村上守一，田村隆幸，中曾根亨，吉松嘉代：ダイオウの圃場栽培と優良系統の選抜．日本生薬学会60回年会，2013，9，7-8，北海道．
- 9) 三宅克典，伏見裕利，大井逸輝，倪斯然，佐々木陽平，御影雅幸：国内で繁用される鉱物性生薬に関する資源調査（2）．日本生薬学会60回年会，2013，9，7-8，北海道．
- 10) 伏見裕利，門脇真，蔵本厚一，蔵本博史：熊本県阿蘇産リモニイトの生薬「禹余糧」としての利用の可能性．日本薬学会第134年会，2014，3，27-30，熊本．

◇その他

- 1) 伏見裕利：気血水に基づいた生薬の分類，富山のくすし，第2回漢方と生薬講座，2013，5，

- 18, 富山.
- 2) 伏見裕利：薬用植物コーナーの展示協力，富山県中央植物園，2013,4～7，富山.
 - 3) 伏見裕利：富山県で栽培可能な薬用植物と本草書の記載，富山県中央植物園，2013,7,28，富山.
 - 4) 伏見裕利：丸薬，湯液をつくってみよう，和漢医薬学総合研究所夏期セミナー，2013,8,23，富山.
 - 5) 伏見裕利：日本館の展示協力，2013 山清世界の伝統医薬 EXPO，2013,9,6-10,20，韓国.
 - 6) 伏見裕利：「モンゴル国における薬用植物の調査と有用植物図鑑の作成」，富山県立中央植物園，2013,9,25.
 - 7) 伏見裕利：「海狗腎」撮影協力，NHK-BS プレミアム，「ザ・プロファイラー～夢と野望の人生～」，#5「伊達政宗」，2013,10,16.
 - 8) 小松かつ子，伏見裕利：現地学習，富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館の紹介．富山市民大学講座，2013,11,1，富山.
 - 9) 伏見裕利：ふるさと文化探求講座—とやまの近代化を学ぶ，和漢薬にふれる，現地学習．富山県民生涯学習カレッジ，2013,11,8，富山.
 - 10) 伏見裕利：放送大学創立 30 周年記念見学会，世界の伝統医学と民族薬物，現地学習．放送大学富山学習センター，2014,1,11，富山.
 - 11) 伏見裕利：「膠飴」撮影協力，NHK 富山放送局，ニュース富山人，「とやま未来遺産」，2014,2,24，富山.

◇共同研究

学内

- 1) 倉石泰，安東嗣修（大学院医学薬学研究部），柴原直利，小松かつ子（和漢医薬学総合研究所）：抗癌薬誘発末梢神経障害に対する温性の漢方方剤及び生薬の効果に関する研究，2009～.
- 2) 小松かつ子（和漢医薬学総合研究所）：薬用植物の多様性を基盤とする栽培拡充戦略—ブランド生薬の作出，2012～.

国内

- 1) 川原信夫：独立行政法人医薬基盤研究所，「各種漢方処方に配合される鉱物生薬カッセキの性状，確認試験等に関する検討」，2007～.
- 2) 三宅克典：金沢大学医薬保健研究域薬学系，「国内で繁用される鉱物性生薬に関する資源調査」，2012～.

◇研究費取得状況

- 1) 文部科学省科学研究費，基盤研究 C（代表：伏見裕利）「日本民間薬の現地調査と民族薬物データベースの充実」，90 万.
- 2) 平成 24 年度厚生労働省科学研究費補助金，創薬基盤推進研究事業（分担：伏見裕利）「薬用植物の多様性を基盤とする栽培拡充戦略—ブランド生薬の作出」65 万.

◇記録

I) 見学者（2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日）

来館者総数：817 名（日本人 744 名，外国人 73 名）

案内総回数：82 回（日本人 69 回，外国人 13 回）

外国人の国名(人数) 韓国(44)，インドネシア(9)，アメリカ(6)，中国，ベトナム(各 4)，ミャンマー(3)，台湾，ドイツ，スリランカ(各 1)

主な来館者の所属先 【海外】韓国（釜山大学，忠南大学，韓医学研究院，韓国山林科学院，サムスン総合技術院老化研究センターなど），インドネシア（ハサヌディン大学），米国（聖アンソニー看護大学），

中国（北京大学，海南医学院），ベトナム（ベトナム国立薬物研究所），ミャンマー（Fame Pharmaceuticals など），台湾（嘉義大学），スリランカ（ケラニヤ大学）

【国内】財務省，文部科学省，環境省，国立医薬基盤研究所，国公私立大学 11 校，国立大学協会，富山県立富山いずみ高校，富山大学同窓会連合会，富山県民カレッジ，富山市民大学講座，岡谷商工会議所，他

II) 民族薬物データベース (2013 年 4 月 1 日 ~ 2014 年 3 月 31 日)

アクセス数 : 10,379 件
専門検索アクセス数 : 774 件 (日本語 623 件, 英語 151 件)
専門検索登録者数 : 26 名 (日本語 22 名, 英語 4 名) (全 1,493 名)
一般検索アクセス数 : 955 件 (日本語 782 件, 英語 173 件)

III) 証類本草データベース (2013 年 4 月 1 日 ~ 2014 年 3 月 31 日)

アクセス数 : 881 件 (試用版 177 件)
専門検索登録者数 : 21 名 (全 264 名)